

友禅技法を施したレザー 世界でここだけの技術力

国内・外のブランドが注目するレザーがある。それが、タケグチが作りだす「ユウゼンレザー」だ。豚革に友禅技法の染色を施し、ぼこぼことした凹凸で模様を立体的に浮かび上がらせる。革友禅を手掛ける工房はあるが、立体感のある仕上がりは世界でここだけしか成しえない技法だ。

タケグチはもともと、バッグや財布など革小物を製造。使用する革の染めを職人をお願いしていたが、その職人が体調不良でできなくなったため、竹口さん自身が染めをやることに。

染めに失敗し、デコボコになった革を工房にほおっていたら、それが面白い、という人がいたそう。もう一度、それを作ってみようと思ってもできない。染料などを研究し、ようやく今の技法を再現した。

表現したいデザインにあわせ染料を配合しイチから色を作り出す。デザインに応じて、必要な部分に色をのせたら1日置いて自然乾燥。乾いたら次の色…と色の数だけ繰り返す。すべての色を重ねた革が乾いたら蒸して色を定着。染料の中に革を縮める成分、立体的に盛り上げるようにする成分が入っているため、その成分が蒸すことで立体感を生む。その後、洗浄を数回行う。洗うことで余分な染料などを落とし、色止め。その薬品も独自に開発している。

他にはない技術で生み出される唯一無二の美しいレザーは、生野から世界へ羽ばたいている。

株式会社タケグチ

〒544-0024 大阪市生野区生野西4-17-5
TEL 06-6711-5570 FAX 06-6711-5571

事業内容／革友禅加工

革に色をのせるのは、どこにでもある。
ただ革を蒸しあげることで、
おもしろい風合いが生まれる
技法はうちだけです。

豚1頭で1枚、
大きな1枚が仕上がる
と、2〜3割ぐらい縮みます。

1日1色染めだけなら、
70枚できますが、
色数が多くなると、
日数がかかりますね。

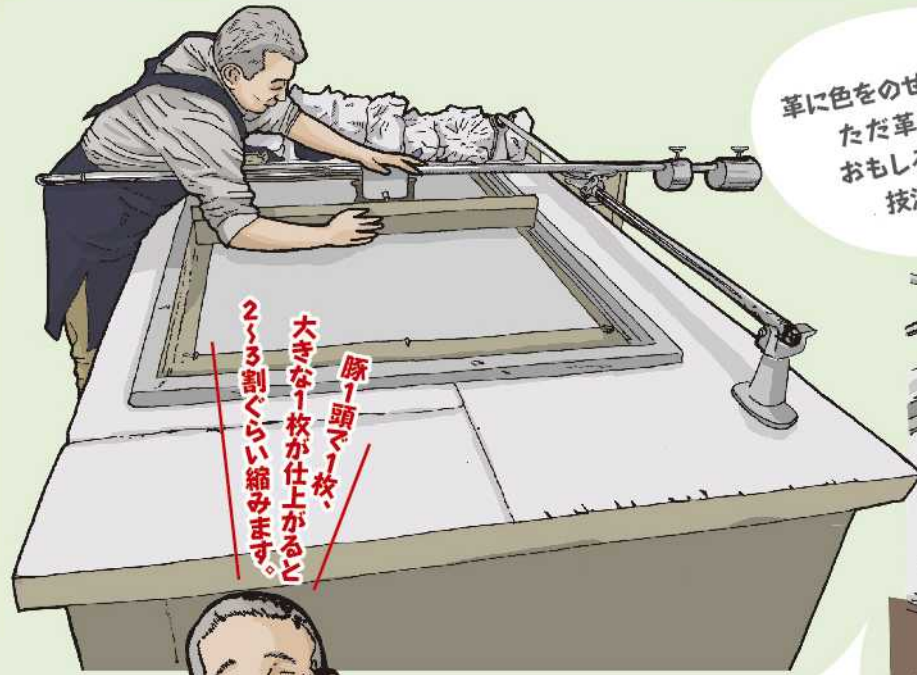
乾燥しているときはやりやすいが、
梅雨時は湿気が多く
乾きづらいです。

革が100枚あっても、
質感が違い、脂のりも違うので、
蒸し上げたときの
表情は異なります。

世界の
ブランドが
注目!

我が社の
自慢

ユウゼンレザーが、スペイン発のブランドの財布、日本を代表するテキスタイルデザイナーが手がけるブランドの財布やバッグに使用されている。そのほか、いろいろなところから依頼がくるそう。



Handwritten text in the bottom left corner, likely a signature or note.